





132290



日文 701587758

澤宮久孝

美華集注釋

卷第四

中央公論社



萬葉集注釋卷第四 奧附

昭和三十四年四月二十五日初版 昭和四十八年十一月三十日十八版

著者澤瀉久孝<sup>おもだかひさたか</sup> 發行者高梨茂 印刷者北島義俊 製版印刷所大日本印刷株式會社東京

都新宿區市谷加賀町一丁目十二番地 發行所中央公論社東京都中央區京橋二丁目一番地振替東京三四番

定價二千五百圓

本文抄造 三菱製紙株式會社

表紙麻布 株式會社 望月商店

口繪(コロタイプ) 株式會社東京寫眞印刷所

製本所 小泉製本株式會社

製版所 加藤製版印刷株式會社

## 凡例

一、原本の傳はらない古典の注釋の底本としては、その原本の時代に近い古寫本か、世に最も廣く行はれてゐる流布本か、いづれかが用ゐられがちであるが、兩者に一長一短のある事、他の古典の場合にも既に述べられてゐるところである。

私はその兩者の長を採らうとして底本の二本立といふ事を思ひついた。定本萬葉集以來、西本願寺本を底本とする事が二三の注釋書にも行はれてゐるが、それは廿卷完備した最も古い寫本としてうなづかれる態度ながら、西本願寺本と流布本とは大體系統を同じくするものであるから、私は系統を異にする古寫本と流布本（寛永本）とを照合して、兩者の間に異同がある場合はその正しいと認めた方を採つた。従つてそのいづれか一本が誤と明瞭に認められるものは一々注を加へない。その底本とした二本以外の諸本、諸注によつて訂正したもののみ注を加へた。たとへば變とあるは二つの底本には「戀」とあるが、元曆校本に「變」とあるによつた事を示し、之とあるものは底本たる二本には「之」の文字なく金澤本によつて補つた事を示し、敢とあるは底本をはじめ諸本に「取」とあるを古義によつて「敢」と改めたものであり、<sup>丹</sup>乃とあるは底本に「丹」とあるが、「乃」の誤と認むべきでないかと思はれるものである。

一、流布本と系統を異にする古寫本は殆ど廿卷完備したものなく、中には斷簡に過ぎないものもあるから、歌一首一首に

ついでどの古寫本を底本としたかを注記した。それによつてその歌の古寫本がどのあたりまで溯り得るかを明らかにし、訓話の參考にすると共に、古寫本の新なる發見に備へる事も出來ようと考へたからである。たとへば原文の下に（類、六・六）とある歌は、桂、金、天、元等の古寫本は傳はつてゐない事を示すものである。それら古寫本の時代については正確には定め難いが、本書に底本とするに當つては次の如き順序によつた。

桂、金、藍、天、元、金砂子切、類、古、紀、尼、嘉。

一、古寫本の校合は複製本のあるものはすべてそれによつた。複製本に漏れたものは原本によつた。その場合はその所在を明らかにした。陽明本と京大本とは著者みづから原本について校合を加へた透寫本（著者所藏）を用ゐた。冷泉本、金澤文庫本、細井本、大矢本は校本萬葉集の注記に従つた。

一、原文の文字は大體、舊字體（當用漢字體に非ずといふ意味）を用ゐたが、誤字考察のたよりを考へて、原本又は原本に近き書體と認められるものはそれによつた。「尔」（爾）、「礼」（禮）、「与」（與）、「哭」（哭）、「綱」（綱）の如きである。

一、原文の下に注記（類、十二・四六）は類聚古集第十二卷四十六頁の意であり、（古、五・一二オ）とあるは古葉略類聚鈔第五册十二丁表の意である。古葉略類聚鈔の現存の卷は八、九、十、十二と、卷名不明の卷との五册であるが、本書では複製本にかりに一、二、三、四、五と名づけられてゐるのに従つた。

一、本文に引用の萬葉集の歌には番號を記した。（二二）とあるは卷一にある一番の歌である。卷數をあげないものはその注釋の卷の中の歌である。

一、萬葉集以外の歌集その他諸書の下に數字はすべて卷數を示す。日本書紀は卷數によらず單に神代紀上、神武紀などと

記した。古事記も中巻、下巻など書かず、神武記、仁徳記などと記した。伊勢物語は池田龜鑑氏の校本にも採用せられてゐる天福本の段數をあげた。新撰字鏡は天治本によつた。享和本、群書類従本によるものは(享)(群)と注した。『倭名抄』と書いたものは倭名類聚抄十卷本であり、「和名抄」と書いたものは同、廿卷本である事を示した。高山寺本は(高)と注した。類聚名義抄は(佛、上)(法、中)など注したものは観智院本である。色葉字類抄(上)(中)など記したものは三卷本(古典保存會刊)であり、伊呂波字類抄(一)(二)など記したものは十卷本(日本古典全集所収)である。

二、書名を省略して引用したものを左に掲げる。

|   |           |   |                               |
|---|-----------|---|-------------------------------|
| 桂 | 桂本萬葉集     | 壬 | 傳壬生隆祐筆本萬葉集                    |
| 金 | 金澤本萬葉集    | 嘉 | 嘉曆(傳承)本萬葉集                    |
| 藍 | 藍紙本萬葉集    | 紀 | 紀州本(校本に神田本とあるもの)萬葉集           |
| 天 | 天治本萬葉集    | 西 | 西本願寺本萬葉集                      |
| 元 | 元曆(校)本萬葉集 | 細 | 細井本萬葉集                        |
| 類 | 類聚古集      | 陽 | 陽明文庫本萬葉集(京都大學所藏。校本に溫故堂本とある親本) |
| 古 | 古葉略類聚鈔    | 矢 | 大矢本萬葉集                        |
| 尼 | 尼崎本萬葉集    | 京 | 京大本萬葉集(校本に京都帝國大學本とあるもの。曼殊院舊藏) |
| 冷 | 冷泉本萬葉集    | 無 | 無點本萬葉集                        |
| 文 | 金澤文庫本萬葉集  |   |                               |

|    |                                                  |       |      |                                                                                                                                                                                       |       |    |
|----|--------------------------------------------------|-------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|
| 附  | 附訓本萬葉集                                           |       | 動植正名 | 萬葉古今動植正名                                                                                                                                                                              | 山本    | 章夫 |
| 寛  | 寛永本萬葉集                                           |       | 美    | 萬葉集美夫君志                                                                                                                                                                               | 木村    | 正辭 |
| 仙  | 萬葉集註釋<br>(仙覺抄ともいふ)                               | 仙     | 文字辨證 | 萬葉集文字辨證                                                                                                                                                                               | 木村    | 正辭 |
| 拾  | 萬葉拾穂抄                                            | 北村    | 字音辨證 | 萬葉集字音辨證                                                                                                                                                                               | 木村    | 正辭 |
| 管見 | 萬葉集管見                                            | 下河邊長流 | 訓義辨證 | 萬葉集訓義辨證                                                                                                                                                                               | 木村    | 正辭 |
| 代  | 萬葉代匠記<br>(引用にあたり平かなを用ゐたものは初稿本、<br>片カナを用ゐたものは精撰本) | 契 冲   | 新考   | 萬葉集新考<br>(安藤野雁と井上通泰と兩氏に同名の著書がある<br>ので、井上氏新考と記したところがあるが、<br>安藤氏のもとは引用するところが少く、單に新<br>考とあるは井上氏のものである。それも歌文珍<br>書保存會刊行のものと國民圖書株式會社刊行の<br>ものとあり、主として前者によつたが、「増訂」<br>と記したところは後者によつたものである。) |       |    |
| 童  | 萬葉集童蒙抄                                           | 荷田 信名 | 増選   | 増訂本萬葉集選釋                                                                                                                                                                              | 佐佐木信綱 |    |
| 考  | 萬葉考                                              | 賀茂 眞淵 | 口譯   | 口譯萬葉集                                                                                                                                                                                 | 折口 信夫 |    |
| 槻  | 萬葉集槻乃落葉                                          | 荒木田久老 | 總索引  | 萬葉集總索引                                                                                                                                                                                | 正宗 敦夫 |    |
| 玉  | 萬葉集玉の小琴                                          | 本居 宣長 | 新講   | 萬葉集新講                                                                                                                                                                                 | 次田 潤  |    |
| 略  | 萬葉集略解                                            | 加藤 千蔭 | 新訓   | 新訓萬葉集                                                                                                                                                                                 | 佐佐木信綱 |    |
| 檜  | 萬葉集檜端手                                           | 橘 守部  | 講義   | 萬葉集講義                                                                                                                                                                                 | 山田 孝雄 |    |
| 攷  | 萬葉集攷證                                            | 岸本由豆流 |      |                                                                                                                                                                                       |       |    |
| 古義 | 萬葉集古義                                            | 鹿持 雅澄 |      |                                                                                                                                                                                       |       |    |
| 註疏 | 萬葉集註疏                                            | 近藤 芳樹 |      |                                                                                                                                                                                       |       |    |

新解 萬葉集新解

武田 祐吉

新釋 萬葉集新釋

澤瀉 久孝

(伊藤左千夫氏にも同名の著がある。その場合は著者の名をあげた。)

私解 萬葉集私解

花田比露思

綜合研究 萬葉集の綜合研究

折口信夫その他  
窪田空穂

全釋 萬葉集全釋

鴻巣 盛廣

難語難訓攷 萬葉難語難訓攷

生田 耕一

秀歌 萬葉秀歌

齋藤 茂吉

評釋篇 柿本人麿評釋篇

齋藤 茂吉

雜纂篇 柿本人麿雜纂篇

齋藤 茂吉

新見 萬葉集新見

森本 治吉

講話 萬葉集講話

澤瀉 久孝

古徑 萬葉古徑

澤瀉 久孝

作品と時代 萬葉の作品と時代

澤瀉 久孝

新校 新校萬葉集

澤瀉 久孝  
佐伯 梅友

定本 定本萬葉集

佐佐木 信綱  
武田 祐吉

染草考 日本上代染草考

上村 六郎

植物新考 萬葉植物新考

松田 修

動物考 萬葉動物考

東 光治

續動物考 續萬葉動物考

東 光治

全譯 全譯萬葉集

武田 祐吉

全註釋 萬葉集全註釋

武田 祐吉

(改造社版と角川版とがある。本書は主として前者によつたが、増訂されたところは後者によつた。現代かなづかひになつてゐるものは後者よりのものである。)

評釋 萬葉集評釋(橋田東聲氏、金子元臣氏、窪田空穂氏に同名の書がある。本書には著者の名を附して引用した。)

評釋 萬葉集

佐佐木 信綱

(これも著者の名を附した。)

大成 萬葉集大成

平凡社 版

私注 萬葉集私注

土屋 文明

歌人の誕生 萬葉歌人の誕生

澤瀉 久孝

古典大系本 古典文學大系本萬葉集

高木市之助  
五味 智英  
大野 晋



一、本書へ引用の雜誌名で、同名が他にもありなどして疑問をもたれるかと思はれるものの發行所を左にあげておく。

國 文 學 關西大學國文學會

女子大國文 京都女子大學國文學會

山 邊 道 天理大學國文學研究室

一、引用の諸書の文章は文字もみだりに變更しなかつた。但、假名に一切濁點を用ゐないものは、馴れない讀者の不便を考へて濁點を加へた。仙覺抄、代匠記などの注の如きである。

一、現代諸家の論攷の題目には「」を加へ、單行本には『』を加へて區別した。

一、上代特殊假名遣については本書中それぞれの場合に當つて述べたが、初學の方の爲に、萬葉ではア行のエ(衣)とヤ行のエ(延)との區別の他に次の十二音の區別があつた事を列舉しておく。

(甲類) 伎、祁、古、蘇、刀、努、比、敝、美、賣、用、路

(乙類) 紀、氣、許、曾、止、乃、非、閑、未、米、余、呂

萬葉集注釋卷第四



萬葉集卷第四

相聞

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 難波天皇妹奉上山跡皇兄御歌一首 (四八四)   | 一六 |
| 岡本天皇御製一首 并短歌 (四八五—四八七)  | 一九 |
| 額田王思近江天皇作歌一首 (四八八)      | 三一 |
| 鏡王女作歌一首 (四八九)           | 三三 |
| 吹黃刀自歌二首 (四九〇、四九一)       | 三五 |
| 田部忌寸櫟子任大宰時歌四首 (四九二—四九五) | 四〇 |
| 柿本朝臣人麻呂歌四首 (四九六—四九九)    | 四八 |
| 碁檀越往伊勢國時留妻作歌一首 (五〇〇)    | 五八 |
| 柿本朝臣人麻呂歌二首 (五〇一—五〇三)    | 六〇 |
| 柿本朝臣人麻呂妻歌一首 (五〇四)       | 七〇 |

|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| 阿倍女郎歌二首 (五〇五、五〇六) . . . . .               | 七二  |
| 駿河姪女歌一首 (五〇七) . . . . .                   | 七五  |
| 三方沙弥歌一首 (五〇八) . . . . .                   | 七六  |
| 丹比真人笠鷹下筑紫國時作歌一首 并短歌 (五〇九、五一〇) . . . . .   | 七八  |
| 幸伊勢國時當麻呂大夫妻作歌一首 (五一) . . . . .            | 九二  |
| 草孃歌一首 (五二) . . . . .                      | 九三  |
| 志貴皇子御歌一首 (五二三) . . . . .                  | 九九  |
| 阿倍女郎歌一首 (五二四) . . . . .                   | 一〇一 |
| 中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首 (五二五) . . . . .            | 一〇二 |
| 阿倍女郎報贈歌一首 (五二六) . . . . .                 | 一〇四 |
| 大納言兼大將軍大伴卿歌一首 (五二七) . . . . .             | 一〇五 |
| 石川郎女歌一首 即大伴佐保大家也 (五二八) . . . . .          | 一〇七 |
| 大伴女郎歌一首 今城王之母也今城主賜姓大原真人氏也 (五二九) . . . . . | 一一一 |
| 後人追同歌一首 (五三〇) . . . . .                   | 一一四 |
| 藤原宇合大夫遷任上京時常陸娘子贈歌一首 (五三一) . . . . .       | 一一六 |



京職大夫藤原麿大夫贈大伴郎女歌二首 (五三—五四) . . . . . 一二一

大伴郎女和歌四首 佐保大納言卿之女也 (五二五—五三〇) . . . . . 一二九

大伴坂上郎女歌一首 (五二九) . . . . . 一三六

天皇賜海上女王御歌一首 寧樂宮即位天皇也 (五〇〇) . . . . . 一三八

海上女王奉和歌一首 志貴皇子之女也 (五三二) . . . . . 一四一

大伴宿奈麻呂宿祢歌二首 佐保大納言卿之子也 (五三三、五三三) . . . . . 一四四

安貴王戀歌一首 并短歌 (五四四、五四五) . . . . . 一四七

門部王戀歌一首 (五三六) . . . . . 一五八

高田女王贈今城王歌六首 (五三一—五四二) . . . . . 一六〇

神龜元年甲子冬十月幸紀伊國之時爲贈從駕人所詠娘子笠朝臣金村作歌

一首 并短歌 (五四三、五四四) . . . . . 一七一

二年乙丑春三月幸三香原離宮之時得娘子笠朝臣金村作歌一首 并短歌 (五四六—五四八) . . . . . 一八七

五年戊辰大宰少貳石川朝臣足人遷任餞于筑前國蘆城驛家歌三首 (五四九—五五一) . . . . . 一九五

大伴宿祢三依歌一首 (五四四) . . . . . 一九九

丹生女王贈大宰帥大伴卿歌二首 (五五三、五五三) . . . . . 二〇二

- 大宰帥大伴卿贈大貳丹比縣守卿遷任民部卿歌一首 (五五五) . . . . . 二一四
- 賀茂女王贈大伴宿祢三依歌一首 (五五六) . . . . . 二一七
- 土師宿祢水通從筑紫上京海路作歌二首 (五五七、五五八) . . . . . 二一九
- 大宰大監大伴宿祢百代戀歌四首 (五五九—五六一) . . . . . 二二二
- 大伴坂上郎女歌二首 (五六三、五六四) . . . . . 二二九
- 賀茂女王歌一首 (五六五) . . . . . 二三三
- 大宰大監大伴宿祢百代等贈驛使歌二首 (五六六、五六七) . . . . . 二三四
- 大宰帥大伴卿被任大納言臨入京之時府官人等餞卿于筑前國蘆城驛家歌四首 (五六八—五六九) . . . . . 二四〇
- 大宰帥大伴卿上京之後滿誓沙弥贈卿歌二首 (五六三、五六四) . . . . . 二五三
- 大納言大伴卿和歌二首 (五六四、五六五) . . . . . 二五六
- 大宰帥大伴卿上京之後筑後守葛井大成連悲嘆作歌一首 (五六六) . . . . . 二五八
- 大納言大伴卿新袍贈攝津大夫高安王歌一首 (五六七) . . . . . 二五九
- 大伴宿祢三依悲別歌一首 (五六八) . . . . . 二六二
- 余明軍與大伴宿祢家持歌二首 明軍者大納言卿之資人 (五六九、五六〇) . . . . . 二六三
- 大伴坂上家之大嬢報贈大伴宿祢家持歌四首 (五六—五六四) . . . . . 二六六

|                       |                    |     |
|-----------------------|--------------------|-----|
| 大伴坂上郎女歌一首             | (五八五)              | 二七二 |
| 大伴宿祢稻公贈田村大嬢歌一首        | 姉坂上郎女作 (五六六)       | 二七四 |
| 笠女郎贈大伴宿祢家持歌廿四首        | (五六七—六〇〇)          | 二七六 |
| 大伴宿祢家持和歌二首            | (六一—六二二)           | 三三二 |
| 山口女王贈大伴宿祢家持歌五首        | (六二三—六二七)          | 三二六 |
| 大神女郎贈大伴宿祢家持歌一首        | (六二八)              | 三三二 |
| 大伴坂上郎女怨恨歌一首           | 并短歌 (六二九—六三〇)      | 三三三 |
| 西海道節度使判官佐伯宿祢東人妻贈夫君歌一首 | (六三一)              | 三四六 |
| 佐伯宿祢東人歌一首             | (六三二)              | 三四七 |
| 池邊王宴誦歌一首              | (六三三)              | 三四八 |
| 天皇思酒人女王御製歌一首          | 女王者穗積皇子之孫女也 (六三四)  | 三五四 |
| 高安王曇鸞贈娘子歌一首           | 高安王後賜姓大原真人氏也 (六三五) | 三五六 |
| 八代女王獻 天皇歌一首           | (六三六)              | 三五八 |
| 娘子報贈佐伯宿祢赤麻呂歌一首        | (六三七)              | 三六〇 |
| 佐伯宿祢赤麻呂和歌一首           | (六三八)              | 三六三 |

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| 大伴四綱宴席歌一首 (六二九)                      | 三六四 |
| 佐伯宿祢赤麻呂歌一首 (六三〇)                     | 三六五 |
| 湯原王贈娘子歌二首 志貴皇子之子也 (六三一、六三二)          | 三六六 |
| 娘子報贈歌二首 (六三三、六三四)                    | 三六九 |
| 湯原王亦贈歌二首 (六三五、六三六)                   | 三七四 |
| 娘子復報贈歌一首 (六三七)                       | 三七九 |
| 湯原王亦贈歌一首 (六三八)                       | 三八〇 |
| 娘子復報贈歌一首 (六三九)                       | 三八二 |
| 湯原王亦贈歌一首 (六四〇)                       | 三八三 |
| 娘子復報贈歌一首 (六四一)                       | 三八四 |
| 湯原王歌一首 (六四三)                         | 三八六 |
| 紀女郎怨恨歌三首 鹿人大夫之女名曰小鹿也安貴王之妻也 (六四三—六四五) | 三八八 |
| 大伴宿祢駿河麻呂歌一首 (六四六)                    | 三九二 |
| 大伴坂上郎女歌一首 (六四七)                      | 三九三 |
| 大伴宿祢駿河麻呂歌一首 (六四八)                    | 三九五 |